

お口にも
からだにも
大切なこと

歯と歯の間の歯肉は
凹んだ形をしています



プラークがたまりやすく、
かつ弱い組織のため、
歯周病が発症しやすい
環境なのです。

歯周病は、
からだの健康にも
影響を及ぼすから

歯間ブラシを使って
プラークを残さない
ことが重要です！



こんな時でも
びっくりしないぞ



出血

使いはじめに出血することがありますが、
これは歯肉が腫れて弱くなっているため
です。使用を続けることによって腫れは
治まり出血は減少してきます。
(出血が止まらない場合は、歯科医師に
ご相談ください。)

歯が伸びてきたように感じたら

歯間ブラシを使用していると、歯肉が引き
締まって歯と歯の間にすき間ができたり、
歯が長くなったように見えたりするこ
とがあります。

【歯間ブラシ長期使用症例】



[45歳男性]初診



継続的に使用中(27年後)

監修：愛知学院大学短期大学部 歯科衛生学科教授 稲垣幸司先生

歯間ブラシは、
歯科医師・歯科衛生士の
正しい指導のもとにご使用ください

ライオン歯科材料株式会社



患者様用リーフレット

歯科用

歯科用

DENT. EX 歯間ブラシ

ご存知ですか？

「歯間ブラシ」 が 必要な理由

歯間のプラークは
歯周病の原因に！



え!?

そうなの?



詳細はこちら

LION

DENT. EX 歯間ブラシについて

*自分に合ったサイズを選んでみましょう



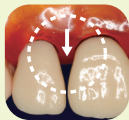
*テーパードズルとSAワイヤー採用で、曲がりにくくて耐久性にもすぐれています



使いやすくおすすめです♪

1

はじめに



歯間乳頭(歯と歯の間の歯肉の部分)を押し下げないように注意します。

歯肉を傷つけないように気をつけて!



歯間ブラシを使ってみましょう

一鏡を見ながら使用してください

2

ブラシの持ち方と挿入

上の歯・中央部



下の歯・頬側



裏側の歯と歯肉の境に沿わせてゆっくりと挿入します。



3

ブラッシング



その位置で、ゆっくりと各ヶ所2~3mm×2~3回程動かします。ブラッシング後は、水で軽くうがいをしてください。

4

ブラシのお手入れ



水ですすぎ洗いし、乾燥しやすい場所に保管してください。

ご注意

- 無理な挿入や、過度のブラッシング等の不適切な使用は、歯や歯肉を傷める可能性があります。
- ワイヤーの曲げ伸ばしを繰り返す行くと、ワイヤーが折れる場合があります。ワイヤーを曲げずにご使用ください。
- 歯肉に強い炎症がある場合は使用しないでください。

歯間ブラシ Q&A



Q. 1日何回使うの?

A. 必ず1日1回はきちんと使しましょう。



Q. 何かつけてみがかくの?

A. そのままでもいいですが、歯間ブラシに適したジェル状歯磨剤と一緒に使用するのがおすすめです。



Q. 交換の目安は?

A. ブラシの毛束が乱れてつぶれてきたら、新しいブラシと交換してください。

ブランクが落ちにくくなるだけでなく、歯や歯肉を傷つけるおそれがあります。

